



S.Setoguchi

## THE OKA SHO

## 第85回 桜花賞 (GI)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着  
本 賞 140,000,000円 56,000,000円 35,000,000円 21,000,000円 14,000,000円  
付加賞 28,791,000円 8,226,000円 4,113,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 馬齢重量

2025.4.13 阪神 雨・稍重 芝1600m (国際) 指定

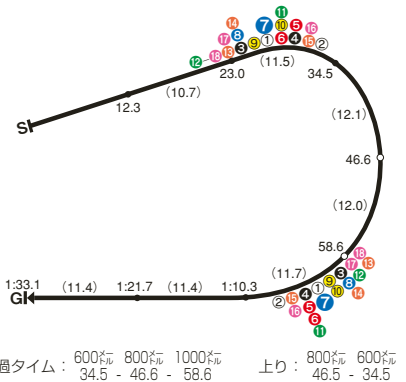
順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り 通過順位 (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑦	エンブroidアリー	牝3	55	J.モレイラ	1:33.1	9-8	34.0	482(+0)	5.0③	森 一誠(美浦)	114
2	⑨	アルマヴェローチェ	牝3	55	岩田望来	クビ	11-10	<b>33.9</b>	496(+12)	3.8②	上村洋行(栗東)	113
3	⑫	リンクスティップ	牝3	55	M.デムーロ	2½	18-15	34.0	472(+0)	6.8④	西村真幸(栗東)	108
4	③	マビュース	牝3	55	田辺裕信	2½	12-12	34.7	486(-8)	35.8⑤	和田勇介(美浦)	103
5	②	エリカエクスプレス	牝3	55	戸崎圭太	1½	1-1	35.6	456(+0)	<b>3.4①</b>	杉山晴紀(栗東)	100
6	⑩	チェルビアット	牝3	55	北村友一	ハナ	15-17	34.5	482(-2)	53.0⑩	杉山晴紀(栗東)	100
7	⑪	ブリムツァール	牝3	55	津村明秀	ハナ	15-15	34.6	450(-4)	158.0⑪	高野友和(栗東)	100
8	①	ヴァレヴ	牝3	55	浜中 俊	1¾	9-8	35.4	480(+6)	38.5⑩	蛭名正義(美浦)	96
9	⑧	ブラウンラチェット	牝3	55	横山武史	ハナ	17-17	34.8	444(+16)	29.4⑧	武幸四郎(栗東)	96
10	④	ショウナンザナドゥ	牝3	55	池添謙一	2½	4-4	36.1	440(-2)	21.1⑥	手塚貴久(美浦)	91
11	⑥	ビップデジ	牝3	55	幸 英明	½	6-4	36.1	440(+6)	12.8⑤	松下武士(栗東)	90
12	⑤	ボンヌソワレ	牝3	55	川田将雅	¾	4-4	36.2	442(-6)	77.3③	宮田敬介(美浦)	89
13	⑬	ナムラクララ	牝3	55	藤岡佑介	3¾	2-2	37.0	464(-6)	93.8⑨	長谷川浩大(栗東)	82
14	⑩	ウォーターガーベラ	牝3	55	武 豊	クビ	12-12	36.3	438(-8)	40.9⑩	石橋 守(栗東)	82
15	⑬	クリノメイ	牝3	55	酒井 学	1¾	2-2	37.3	440(-6)	27.3⑦	須井尚介(栗東)	78
16	⑭	ダンツエラン	牝3	55	団野大成	5	12-12	37.5	488(-4)	109.1⑪	本田 優(栗東)	68
17	⑮	ミストレス	牝3	55	坂井瑠星	6	6-4	39.0	478(-)	84.2⑨	矢作芳人(栗東)	56
18	⑯	トワイライトシティ	牝3	55	松山弘平	2½	6-10	39.1	452(-2)	90.2⑩	杉山晴紀(栗東)	51

単勝⑦500円(3¼%) 複勝⑦200円(3¼%) ⑨150円(1¼%) ⑫200円(4¼%) 枠連④-⑤860円(2¼%)

馬連⑦-⑨1,000円(2¼%) ワイド⑦-⑨490円(3¼%) ⑦-⑫690円(7¼%) ⑨-⑫400円(2¼%)

馬単⑦-⑨2,000円(6¼%) 3連複⑦-⑨-⑫2,200円(3¼%) 3連単⑦-⑨-⑫11,060円(17¼%)

5重勝③①⑤⑧⑦226,420円(2,419票) 対象競走：中山10R／阪神10R／福島11R／中山11R／阪神11R



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m  
34.5 - 46.6 - 58.6 46.5 - 34.5

### アラカルト

- ・J.モレイラ騎手はステレンボッシュで制した24年に続く桜花賞2勝目。JRA重賞は本年3勝目、通算16勝目
- ・森一誠調教師は桜花賞初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算3勝目
- ・アドマイヤマーズ産駒はJRA重賞通算2勝目
- ・ナムラクララの西村洋也騎手は負傷のため藤岡佑介騎手に変更
- ・非抽選馬 4頭(エストウペンダ、ムイ、ルージュナキラ、ロヴィーサ)
- ・エンブroidアリー、アルマヴェローチェ、リンクスティップ、マビュース、エリカエクスプレスはオクス(GI)に優先出走できる

# エンブロイダリー *Embroidery*

牝 鹿毛 2022.2.1生  
北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・南シルクレーシング 美浦・森一誠厩舎  
馬名意味・刺繍。母名より連想

アグサインIRE系 F16-c

アドマイヤマーズ 栗毛 2016	ダイワメジャー 栗毛 2001	サンデーサイレンスUSA スカーレットブーケ
	ヴィアメディチIRE 栗毛 2007	Medicean Via Milano
ロッテンマイヤー 鹿毛 2013	クロフネUSA 芦毛 1998	French Deputy Blue Avenue
	アーデルハイト 鹿毛 2007	アグネスタキオン ビワハイジ

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M4

## INTERVIEW

大谷渡厩舎長（ノーザンファーム早来）

### オークスでも頑張っしてほしいです

いい枠を引けたのであとはレース当日の馬場が悪くならないことを祈っていました。道中は折り合いを欠くような仕草も見受けられましたが、直線で抜け出してからの脚色が良かったため、ひょっとしたら勝てるのではと思いました。厩舎長になってからはこれが初めてのGⅠ勝利となります。元々距離の融通は利くと思っているので、オークスでも頑張っしてほしいです。

S.Katsura



## クビ差の接戦に競り勝ち桜の女王に

年が明けてから多彩な新興勢力が台頭し、ハイレベルの混戦ムードに包まれた桜花賞は、フェアリースを好時計で制した快足馬エリカエクスプレスと2歳女王アルマヴェローチエが、3倍台のオッズで人気を二分。クイーンCの勝ち馬エンブロイダリー、牡馬相手のきさらぎ賞で2着に食い込んだリंकステイプが両馬に続き、この4頭が中心勢力を形成した。満開の桜のもと、しかし、花散らしの雨が降るなかで争われたレースを制したのはエンブロイダリー。新種牡馬アドマイヤマーズの産駒がクビ差の接戦に競り勝ち、桜の女王に輝いた。

一枚上のダッシュで飛び出したエリカエクスプレスは無理に抑えずにそのまま先手を奪取。決った馬場(稍重)に緩みのないラップを刻みながらも、自然体と映る逃げを打つ。対してエンブロイダリーのJ・モレイラ騎手は、出足が鈍かった馬を促して位置を取りに行き、中団を確保。アルマヴェローチエはその外につけ、スタート直後に他馬と接触したリंकステイプは最後方で末脚勝負に構えた。

快調に飛ばしたエリカエクスプレスは直線に向くと馬場の真ん中へ進路を取り、ラストスパートをかけたが、残り200m地点で失速。外から伸びてきた2〜4番人気の3頭がこれを呑み込む。最後はクイーンCの覇者と2歳女王の追い比となり、坂上でもうひと伸びしたエンブロイダリーが、しぶとく食いつかるアルマヴェローチエを抑えて勝利を手にした。

未勝利戦は2歳コースレコード、クイーンCもレースレコードで勝利したように、速い時計の決着に実績を残していた本馬。しかしこの日はぬかるんだ馬場にもしっかりと対応、1勝クラス戦から3連勝を飾り、桜の女王の称号を射止めた。全6勝をマイル戦で挙げた父より幅が広そうな距離適性もアピールし、次走はオークスに決定。一戦ごとに進境を示してきたこれまでの歩みからも、東京・2400mの舞台でどんな走りを見せるか楽しみだ。

### 父アドマイヤマーズ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、香13戦6勝(香港マイル<sup>GⅠ</sup>、朝日杯フューチュリティS<sup>GⅠ</sup>、NHKマイルC<sup>GⅠ</sup>、デリー杯2歳S<sup>GⅡ</sup>、中京2歳S<sup>GⅡ</sup>、共同通信杯<sup>GⅢ</sup>2着、香港マイル<sup>GⅠ</sup>3着、マイルチャンピオンシップ<sup>GⅠ</sup>3着、スワンS<sup>GⅢ</sup>3着、皐月賞<sup>GⅠ</sup>4着)、最優秀2歳牡馬、21年から供用〔代表産駒〕エンブロイダリー(本馬)、ナムラクララ(紅梅S・L)

### 母ロッテンマイヤー

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央14戦3勝(忘れな草賞<sup>GⅡ</sup>、クイーンC<sup>GⅢ</sup>3着)

ゼーゼマン(21 牝父エビファネイア)中央2戦1勝

エンブロイダリー 本馬(22 牝父アドマイヤマーズ)中央6戦4勝(桜花賞<sup>GⅠ</sup>、

クイーンC<sup>GⅢ</sup>) 獲得総賞金224,551,000円

バートラガッツ(23 牝父リアルスティール)

(24 牝父クリソベリル)

### 祖母アーデルハイト

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央0勝

ラダームブランシェ(12 牝父チチカステナゴFR)中央1勝、オードリーバローズ 〇(節分S)の母

ロッテンマイヤー(13 前出)

アーデルワイゼ(15 牝父エイシンフラッシュ)中央2勝(もみじS<sup>GⅡ</sup>2着)

マイエンフェルト(16 牝父ハービンジャーGB)中央3勝(HTB賞)

エーデルブルーム(19 牝父ハービンジャーGB)中央4勝(ダイワスカーレットC、北海H、松浜特別、マーメイドS<sup>GⅢ</sup>2着)

アーデルリーベ(22 牝父ヘニーヒューズUSA)中央1勝、地方0勝(エーデルワイズ賞<sup>JⅢ</sup>3着) 〇

### 曾祖母ビワハイジ

北海道新冠町 早田牧場新冠支場生産 中央4勝(阪神3歳牝馬S<sup>GⅠ</sup>、京都牝馬特別<sup>GⅢ</sup>、札幌3歳S<sup>GⅢ</sup>、チューリップ賞<sup>GⅢ</sup>2着)、最優秀2歳牝馬、15年用途変更、フエナビスタ(ジャパンC<sup>GⅠ</sup>、天皇賞(秋)<sup>GⅠ</sup>、オークス<sup>JⅠ</sup>、桜花賞<sup>JⅠ</sup>、ヴィクトリアマイル<sup>GⅠ</sup>、阪神ジュベナイルフィリーズ<sup>JⅠ</sup>)、ジョウドヴィーヴル(阪神ジュベナイルフィリーズ<sup>GⅠ</sup>)、アドマイヤオーラ(京都記念<sup>GⅡ</sup>、弥生賞<sup>JⅡ</sup>、シンザン記念<sup>JⅢ</sup>、日本ダービー<sup>JⅠ</sup>3着)、サングレアル(フローラS<sup>GⅢ</sup>)、アドマイヤジャパン(京成杯<sup>GⅢ</sup>、菊花賞<sup>GⅠ</sup>2着、弥生賞<sup>GⅢ</sup>2着、皐月賞<sup>GⅠ</sup>3着)、トーセンレヴ(エプソムC<sup>GⅢ</sup>)の母、メルキオル 〇(ブルーバードC<sup>JⅢ</sup>)、タンタラス(京都牝馬S<sup>GⅢ</sup>3着)の祖母